

食品安全関係情報(11月29日 ~12月29日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

11月29日 ~12月29日 (前回11月15日 ~11月28日)		国際機関 WHO・FAO等 (8/7件)	北米 米国 (10/6件)	カナダ (8/5件)	欧州 EU、EFSA (44/27件)	各国 (41/25件)	大洋州 FSANZ等 (3/0件)	アジア 中国 (15/4件)		各国 (10/6件)	中南米等 各国 (1/0件)	その他 報道、論文等も含む (47/13件)
化学物質 (46/18件)	化学物質・汚染物質 (10件)	0	0	0	1	4	0	1	2	0	2	
	食品添加物 (6)	1	0	1	1	2	0	1	0	0		
	農薬 (17)	0	1	0	9	5	0	0	2	0		
	動物用医薬品 (3)	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
	器具・容器包装 (5)	0	1	1	1	1	0	0	0	0		
	その他 (5)	0	0	0	1	1	0	0	1	1		
	計 (46件)	1	2	2	14	14	0	2	5	1		
微生物・プリオン・自然毒 (77/44件)	細菌 (12件)	0	3	0	0	4	0	1	1	0		
	ウイルス (34)	2	3	2	9	6	0	1	1	0		
	原虫・寄生虫 (3)	0	0	0	3	0	0	0	0	0		
	プリオン (8)	0	0	1	4	1	0	0	0	0		
	植物性自然毒 (7)	0	0	0	0	1	0	3	1	0		
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
	動物性自然毒 (1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	その他 (10)	4	0	0	3	0	1	1	0	0		
計 (77件)	6	6	4	20	13	1	6	3	0			
新食品等 (15/6件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	GMO (6)	0	0	0	3	1	0	0	0	0		
	健康食品 (5)	0	0	1	0	1	0	0	1	0		
	アレルギー (4)	0	0	0	0	2	0	0	0	0		
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計 (15件)	0	0	1	3	4	0	0	1	0			
肥料・飼料等 (6/9件)	肥料 (2件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	飼料 (4)	1	0	0	3	0	0	0	0	0		
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計 (6件)	1	0	0	4	0	0	0	0	0		
その他 (42/16件)	表示 (5件)	0	2	0	0	2	1	0	0	0		
	放射性物質 (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
	栄養 (1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
	その他 (20)	0	0	0	3	6	1	7	1	0		
	論文情報 (14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計 (42件)	0	2	1	3	9	2	7	1	0		
海外の食中毒 (1/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0		

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(11月29日～12月19日収集分 187件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciiis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、ビスフェノール A(BPA)に係る安全性評価書を更新
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 食品中のアクリルアミドに係る意見公募の結果に関するフォローアップ会合を踏まえ、さらに精密にリスク評価する旨を公表
 - ・ ビスフェノール A に関する科学的意見書を採択し、2015 年 1 月末までに公表することを公表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、飲料水中の塩化ビニルの水質基準を超えている状況のリスク評価に関する報告書を発表
- ・ アイルランド農業・食料・海洋省(DAFM)、雌牛及び雄牛のウシ科動物からの腎臓をカドミウムリスクによりフードチェーンから除外にしよう注意喚起

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 米国疾病管理予防センター(CDC)、キャラメルアップルが原因とみられるリステリア・モノサイトゲネスによる集団感染情報を発表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 高病原性鳥インフルエンザ H5N8 亜型に関する科学報告書を公表
 - ・ 2014 年微生物学的リスク評価に関する科学ネットワーク年次報告書を公表
 - ・ 非動物由来食品中の病原体によるリスクに関する科学的意見書 Part2 (茎菜類及びにんじんにおけるサルモネラ属菌、エルシニア、赤痢菌及びノロウイルス)を公表
- ・ Eurosurveillance : 「2012 年に北ドイツで発生したパン製品に関連する A 型肝炎集団食中毒」
- ・ 英国食品基準庁(FSA)、市販鶏肉のカンピロバクター汚染状況の調査結果を公表
- ・ 台湾衛生福利部疾病管制署、貝類の生食による A 型肝炎に関して注意喚起
- ・ 豪州・NZ 食品基準機関(FSANZ)、未処理の生乳の飲用について注意喚起

【新食品等】

- ・ 欧州委員会(EC)健康・消費者保護総局(DG SANCO)、欧州理事会と欧州議会は加盟国が自国内で遺伝子組換え農作物を栽培できるか否かについて決定権をもつことに合意した旨公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、報告書「RNA 干渉利用による遺伝子組換え植物のリスク評価に関する要考慮事項」を発表

【その他】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、特定ビールの表示に係る最終ガイダンスを発表